



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

Shintoshin Weekly

〒160-0023 新宿区西新宿2-7-2 ハイアットリージェンシー 東京11階
TEL : 03-3340-3555 FAX : 03-3340-3554
HP : <http://www.tokyo-shintoshin-rc.org> E-mail : shintoshin-rc@par.odn.ne.jp
会長 小川恵司 幹事 伊豆隆義 創立 : 1988年9月21日

「PET検査の魅力」

四谷メディカルキューブ 理事長 安田 聖栄 (やすだせいえい)氏

約30年前、まだ日本でPET検査が知られてなかった頃、米国の医療施設に3か月間PETの勉強で滞在しました。その後PET検診に従事し学会、論文で成績を発表し注目され、その後のPET検診普及に貢献できました。当時有名医学誌に掲載された論文は貴重な記録となりました。その後PET装置は進歩し、画像は鮮明となり、得られる情報量が格段に増えました。現在もほぼ毎日PET画像とにらめっこしています。長年取り組んできたPET検診について、現状を皆様にお伝えできればと思います。



1. 数多くのがんが比較的早期の段階で発見される。
2. 得意、不得意が明らかになった。国が勧める5つのがん検診(胃、大腸、肺、乳腺、子宮)に加えて実施することでがんの大部分がカバーされる。
3. PETで調べるのはがんだけでない。
4. PET画像は情報量が多く受診者への分かり易い説明が大切。
5. PET検査の医療被ばくは心配なくてよい。
6. 体のどこかに重大な異常が潜んでないか心配な場合はまずPET検査を受けるのも良い(PETファースト)。
7. 唯一の短所は高額(10万円前後)なこと。

略歴 : 1977年大阪大学医学部卒業、東海大学医学部消化器外科(講師)、The University of Tennessee Medical Center客員研究員、山中湖クリニック腫瘍部長、東海大学医学部消化器外科教授・同付属病院副院長、2016年より現職。著書 : 「最新のがん検診がわかる本」法研、「一般診療医のためのPET画像の見かた」金原出版、「エッセンシャル医療安全」金原出版、「がんのPET検査が分かる本」法研、「初期診療Review」金原出版、「ビタミン製剤の使い方(仮)」日本医事新報社(2021年度刊行予定)。

2021年11月10日(水) 第1491回例会

「PET検査の魅力」

四谷メディカルキューブ 理事長 安田 聖栄 氏
(紹介者 江成 信武会員)

2021年11月17日(水) 第1492回例会

「私が近くで見た昭和の政治家」
豊田祥明会員